

No. 012

平成27年9月4日

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

自然体験イベント事故情報

事故名	転倒し胸を強打する	被災者	年齢 60歳台	性別 女性
事故状況	発生日時 平成27年8月22日(土) 午前11時頃			
	発生場所 公園			
	<p>事故状況(何をして、どのように、どうなった)</p> <p>観察会の下見に出るとき、駐車場の車止めに躓き、続く車止めの上に転倒して胸を強打した。</p>			
事故処置	<p>誰が、どのように処置</p> <p>転倒した後、すぐに立せず暫く蹲りその後立ち上がり、その時は、あまり痛みを感じなかったため、そのまま観察会の下見を続け、自宅に帰った。しかし、徐々に胸に痛みを感じてきたため、救急外来の診察を受けた。</p>			
	<p>ケガの部位・症状</p> <p>右胸 外傷はないが、上体を動かすと強い痛みがはしる。右手を上には挙げられない</p>			
	<p>推定原因と再発防止策は</p> <p>原因は、後列で前の人に追いつこうとして足元の車止めに気が付かなかった。再発防止策は、周囲・足元の状況が見えるように前の人との間隔をとること。</p> <p>周りのメンバー：被災者への声掛けを以下の通りしていくこと。 「大丈夫ですか？」と問いかけましたが、被災者の身になっていないと気づきました。その場ですぐに大きな痛みを感じない場合など、聞かれた方は迷惑をかけないように痛みをこらえて「大丈夫です」と応える場合が少なくないでしょう。 「どうしたのですか?」「どこが痛いのですか?」「救急車を呼びましょうか?」 「この後の活動は休みましょう」・・・というようにしていきましょう。 これは保全協会の安全マニュアル(作成中)にも挿入すべき事項です。</p>			
総務部コメント	被災者への声掛けは、参考になる意見であり安全マニュアルに挿入したい。			